

永遠（とわ）の木

6月23日（火）

朝、新任3年目の先生に「今日は何の日？」と問いかけると、「沖縄慰霊の日です」と答えが返ってきました。流石です。

3年生最大の行事である修学旅行が2回に渡り延期されました。今日6月23日は、沖縄戦が終わって75年目の「慰霊の日」です。慰霊の日は、沖縄県が定めた沖縄戦犠牲者への哀悼の意と世界平和を願う日です。第二次世界大戦末期の沖縄戦において、日本軍による組織的戦闘が終結したことにちなんだ記念日になります。慰霊の日は、アメリカ統治下に定められた琉球政府独自の休日の1つで、1961年に制定されました。現在の沖縄県平和祈念財団が、琉球政府に戦没者慰霊の日を定めることを要求したことが始まりとされています。もともとは6月23日ではなく、6月22日が慰霊の日として制定されていました。慰霊の日は、6月22日に制定されてから4年後に、6月23日に変更になりました。祝祭日に関する立法の改正に当たり、慰霊の日についても再調査が行われ、牛島満中将司令官が自決した日についてのズレが明らかになりました。

修学旅行が終わっていたら、生徒たちも実感があつたと思いますが、今日の新聞やニュースでこのことが取り上げられますので、75年前に沖縄で何があつたのか、9月の修学旅行に向けて沖縄戦の学習を各自で行いましょう。

さて、タイトルにしています「永遠（とわ）の木」というのをご存知ですか？修学旅行が長崎方面だった頃の先輩が長崎から持ち帰った「原爆クスノキ」が体育館の南側の庭に植えてあります。このクスノキが「永遠の木」です。

この木は長崎の被爆者末永浩さんが平和の願いを全国の子供たちに伝えたいと贈ってくださったものです。山南中学校ではこの木を、山南中学校の平和の歴史と願いの象徴として大切に育てています。私が以前勤務していた頃には、まだ小さな木でしたが、ご覧のように大きなクスノキに成長しています。また、「永遠の木」と彫られた石碑は、当時生徒の保護者だった石材店の方が無償で作っていただきました。

